



Happy New Year !

2017

希望、笑顔と平和の一年となりますように！

May it be a year of hope, smiles and peace!

初出版から 10 周年！
Celebrating 10 years
since Popoki's first book!



今年もよろしくお祈りします！

ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project



ポーポキの目標 2017年！

1. 非暴力で平和な世界の創造のために積極的に行動します！
2. 今までの友だちを大切にしながら新しい仲間をつくり、一緒に学び合い、行動し、そしてつながりをいっそう確かなものにします！
3. 東日本大震災の支援活動を継続します！
4. 平和と健康、安全、安心についての取り組みを継続し、深めます！
5. 身近な世界にも遠くはなれた世界にも関心を持ち、情報を共有する。考えたことや見聞きしたこと、感じたことについて報告し合い、共有し続ける！
6. 周囲の人にもよろこびを提供し、みんなで喜びを分かち合います！





1月。今年はとても寒いので、ポーポキはときどき元気をなくします。でも、咲き始めている梅をみたら、元気を取り戻します。あなたは、大丈夫ですか？元気がなくなったら、何か対策はありますか？

Popoki's Hot News!

世界政治には暗いことばかり。
各地に災害が起きている。
人間、植物、動物…地球全体が苦しんでいる。
でも、ポーポキはまだいる！私たちはまだいる！
そして私たちはみんな、まだ平和のために一緒に活動している！



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのまゆこにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

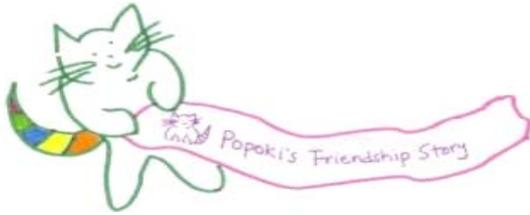
「自分に余裕がなくなって周りが見えなくなった時
真っ暗にした部屋にねっころがって
一人で自分と向き合う時間
また明日も頑張ろうと思える時間

そんなひとときは私の平和な時間です」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !





Popoki's Interview

ろにゃん&ポーポキの友だちたち

*1月17日に、1995年1月17日の阪神・淡路大震災についての詩を発信しました。ポーポキの友だちの中から、コメントや自らの思い出を送ってくれる人がたくさんいました。許可を得て、その一部をここで紹介します。コメントなどを送ってくださったみなさん、ありがとうございました。

2017.1.17 によせて

ときって、なに色？
あせたり、濃くなったり、変化したり、変わらなかつたり
ポーポキのときと私のときと
同じ色かしら？

1995年1月17日

ポーポキと一緒に体験したその日。
記憶はときと共に変化したりするけれど
身体に刻まれたあの日の記憶は変わりません。
揺れ直前の地鳴り
ポーポキの小さな体にも私の大きな体にも
大きな音に対する恐怖感が残りました
以後、雷を怖がって抱き合いながら我慢する二人
笑っても良いよ、けれど、優しい微笑程度にしてね。

あの日のことを思い出す
きっと無理だと思っていた友だちと無事に再会できたときの涙
再会が永遠となった人を想うときの涙
震災後、初めて見た梅の花に涙
寒くて暗い部屋にいて、怖くて流した涙
世界中から来た救援物資のかんづめ
食べてもその中身がわからなくて笑いすぎた涙
泣いているのは自分だけではないと知ったときの
かすかな安心の涙

地震。洪水。つなみ。事故。テロ。戦争。自殺。
うまく行かないとき。失敗。恋。よろこび。
生き物のときはみんな、色が違う。
長さも。形も。影も。

私にとっての「あの日」と、あなたにとっての「あの日」は違う。
私の「あの日」を知らない、あなたにもそういう「日」があるでしょう。
伝えようとしなければわからない。聞こうとしなければ聞こえない。
今日も生きている。
だから、大切な話を共有しよう

コメント

「私もロニーさんに聞いた恐怖の中で、最初に直感したと言われた「原発が爆発したかと思った」の一言が強力で、忘れられません。それが、東日本の大震災で現実のものとなってしまいました。そして、それがポーポキの東北に寄り添った支援活動につながっているんですね。長い日本生活とは言え、帰国するという選択肢もあったかと思うのですが、よくぞ日本に残る決断をしてくださったと思います。それにしても、熊本、島根や東北の余震など、次々と地震が続きます。第二の原発事故が起こらないことを祈るばかりです。」A.F. (名古屋市)

「皆様のご冥福をお祈り致します。神戸の方々には、たくさんのご支援を頂きました。そのご恩を忘れずに、私達も復興に向けて頑張っていきたいと考えています。」Y.K. (大槌町)

「ロニーさん、阪神淡路大震災メッセージありがとうございました。22年前テレビ報道で大震災を知りなんとも言えない思いだったことを覚えています。広島の土砂災害からも2年目を迎え、いまだに苦しんでいる人がおられることを感じています。いろいろなことが時と共に風化して行くことが残念でたまりません。このメッセージ少しでも多くの人に知ってもらいましょう。」M.M. (広島市)

「いい詩ですね。同感、共感しました。今でも、1.17には、不思議と5時46分に目が開きます。潜在意識に刷り込まれているのでしょうか???そして今も消えない衝撃があります。

焼け落ちる新長田の実家周辺。路地から逃げ惑う友人と、それを追う路地の形の火。
西神戸YMCAのぼろぼろになりながらも、立っていた光景。」T.O. (神戸市)

「震災のことを思い出させてくれて、ありがとうございました。災害マネジメントの講義の一環として神戸の震災博物館を訪問したことを思い出しました。それは衝撃的な体験でした。私にとってはじめて、すべてを破壊する震災のビデオやシミュレーションを見ることができました。生活がめちゃめちゃになり、家族が亡くなり、顔にストレスが読み取れました。朝の5:46に地球が動いただけであんなことが私に起こったらどうするか想像できません。忘れてはならないことは、人間はとても小さく、私たちは世界、自然、地球のすべてをコントロールできるほど力があると思いついでいるけれど、私たちはたかが人間です。自然の一部にすぎません。」R.S. (神戸市・留学生)

「1月17日に共有する思いとして素敵です。…私にとって、その日のことを思うと、二つの地震を思い出します。その一年前に起きたロサンジェルス・ノースリッジ地震と阪神大震災。そして、その後21回もこの日がきました。そのうちの何回かは神戸の追悼式に参列しました。2000年1月に神戸大学で開催された追悼式が特に悲しいものでした。そのときは、亡くなられた神戸大学の学生と教職員を追悼しました。そして、2005年1月17日に神戸で開かれた世界防災会議に参加しました。どの追悼式でも参列者は、神戸のみならず、世界中の地震による被害を減らすために努力を続けると静かに誓うことが印象的でした。」L.C. (ピッツバーグ市)

「22年前の今日の、ロニーさんの恐怖の体験が、深く伝わってきました。あの日、わがふるさとの淡路島の家も一部こわれてしまいました。今は亡き父母は、当時、養護ホームに入所していたので家は無人。おかげで助かりました。家は修理し、年に何回か帰省して今も利用しています。阪神淡路大震災も、ヒロシマ・ナガサキ、そしてフクシマも決して忘れてはいけませんね。」A.T. (広島市)

「遅くなりましたが、阪神淡路大震災によせての、ろにゃんの詩を読みました。東日本大震災の時、東京にいた私も、異様な地鳴りと足の裏で地面が波のように動き、周囲の木々がわっさわっさと揺れ、鳥たちが一斉に飛び立ち、周りのマンションが異常な金属音を立てて揺れ動き、帰宅後、テレビに映る津波がすべてを飲み込む風景、フクシマの爆発……。あの時の恐怖と悲しみが蘇ってきて、涙を流しながら、ろにゃんの詩を読みました。17日にNHKの番組で、阪神淡路大震災の時、家の下敷きになっている近所の人を助けようとしていたら、周囲から起きた火事が迫ってきて、「逃げてくれ」という近所の友人の言葉に、その人を家の下に残し、手を合わせながら逃げたときのことが今でも忘れられずにいる方の、その後の地域での取り組みを見ました。その方は地域の人たちがどんなときにも協力し合えるよう、普段から餅つき大会など、イベントを通して、交流する機会を作って活動していました。これを見ながら、あの戦争の時、空襲や原爆投下後の火事で同じように下敷きになった、親や子、友人を置いて逃げた自分を今でも責め続ける人たちの姿と重なりました。状況は違っても、心に傷を負うような出来事が日本中、世界中にあふれています。福島から避難したこどもがいじめられているニュース、憤りを覚えるほど悲しかったけれど、その子にエールを送るため、全国のこどもたちがさまざまな形で行動を起こし始めたニュースに、感動しました。心に傷を負った人のために行動を起こすことの大切さを、こどもたちに教えられました。」K.U. (東京)

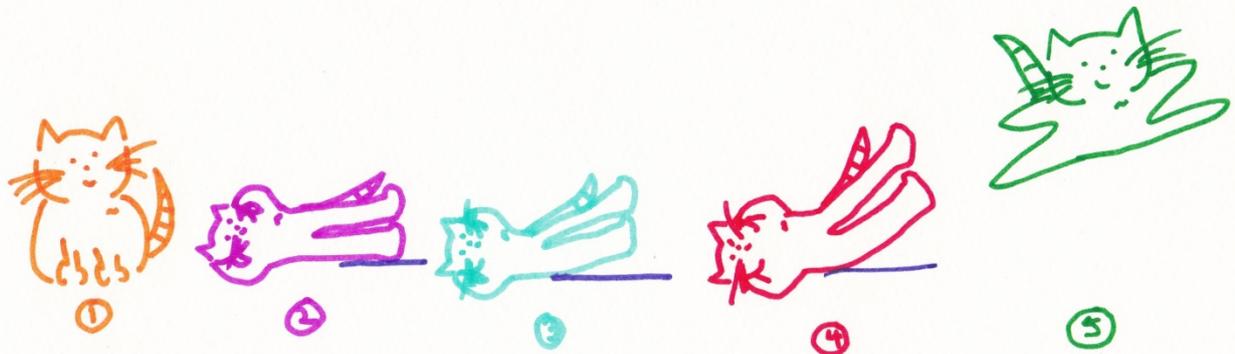
「今はキルギスにいます。早速に読ませていただきました。阪神淡路大震災から22年になるのですね。当時、私はNYCにいました。平和で安全に生活できる環境はありがたいですね。昨日、キルギスではトルコの貨物機が民家に落ちて37名がなくなりました。」K.O. (神戸市)



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 104

今月のテーマは、腹筋です！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、仰向けになりましょう。足を伸ばして、片足をもう一方の足の上に重ねてみてください。しっほも上げてね。終わったら、足を入れ替えます。
3. 次は、②の足の高さから始めましょう。少し難しくなりましたね。下の足の高さに足をもってきて、さらにその足の上に足を重ねてみましょう。終わったら足を入れ替えましょう。
4. 最後にもう一段と高くしましょう。③の高さから初めて、同じことをしてみてください。終わったら、足を入れ替えるのをわすれないようにね。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？

次回のポー会： 2月15日 19:00~20:30 神戸YMCA 201号室

- 2017年2月2日~6日 ポーポキ in 大槌町(予定)
- 3月 ポーポキミニ平和映画祭(予定) 神戸YMCA/神戸YWCAと一緒に！
- 3月 ポーポキ友情物語活動報告会(予定)



*1月~2月は、ポーポキの多くの友だちがとても忙しい時期ですので、活動が少ない。



平和なまちの安心・安全
～それはどんな色～



ぼくは、ポーポキ！
一緒に考えませんか？



日時：2017年2月4日～5日

10:00～17:00

場所：マスト 3 会会場

参加費：無料

対象：どなたでも OK!

岩手県
大槌町
だよ！

東日本大震災をきっかけにスタートした

「ポーポキ友情物語」活動はまた大槌にやっ
てきます。神戸大学の学生、阪神大震災の経
験者、神戸から来たメンバーと絵を見たり、
描いたり、お茶を飲んだり、一緒に
おしゃべりしませんか？



2011年5月以来、たびたび大槌町のみな
さんと絵描き活動をしています。
今年は、どんな絵になるのかな？

主宰 ポーポキ・ピース・プロジェクト (神戸)
お問い合わせ つどい ～大槌の人と街を育む～ 080-1838-1602

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange
<http://www.interpeople.or.jp>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！ <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える 1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『『ポーポキ、友情って、なに色？』「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8. 10面





私にとってのポーポキ

はやしにゃん

本当に個人的なことになりますが、私がポーポキに関わったのは2012年12月のポー年会がきっかけです。この日、私は神戸大学との研究員としての契約が切れる最後の日だったのです。ポーポキは、それまで何をやっているのか分からない不思議な人たちの集まり、というイメージだったのですが、「退職？ だったらご飯でも食べに来なさい」というろにゃんの言葉は、ものすごく暖かいものを感じられました。私の職場はボランティア支援室でした。スタッフは男ばかりで「むさ苦しい」マッチョでやや堅苦しいカラーがどこかしら漂っていました。そういった自分の職場の偏りに目を開かせてくれたのが、私にとってのポーポキです。職場での次の契約が始まったら、ポーポキのカルチャーをなんらかのかたちで取り入れたい。それがきっとボランティアやアドボカシーを考える上でも大切だろうと思いました。退職の日にポーポキから受け取った暖かさ、それをボランティアやアドボカシーでかたちにしたいと思いました。一人ひとりに暖かさを感じ取ってもらえなければ、平和を考えるための呼びかけに、誰も耳を傾けてはくれない。そういうメッセージを、私はこのポー年会で、自分ごととして感じました。

子ども、いきもの声に耳を傾けること、具体的にはそういった、自分がこれまで苦手にしてきたことへのアプローチのきっかけを、私はポーポキの中から学ぶことができました。先月のポーポキ通信でも報告のあった「子どもの権利条約フォーラム」の裏方を、ここ1年にわたってしてきました。いろいろな「しんどい」子どもとも、準備を重ねてきました。初めは殻に閉じこもって、攻撃的に接してきた子どもも、いつしか私に冗談を言ってじゃれついて来るようになりました。一人ひとりの子どもに、大人がきちんと向き合ってきたことが、分かってもらえたのだと思います。もちろんそこには、私がポーポキで学んできたポーポキ・マジックが効いているのは言うまでもないと思います。

そういうわけで、自分の仕事の大きな変化のきっかけに、ポーポキはありました。私はこの4月でまたもや今の職場から離れて、新しい学校に移ります。そんな時期に「私にとってのポーポキ」を書くことができ、それもまた嬉しいことです。

(写真は、ポーポキ参加のきっかけとなったポー年会のお土産のラフランスです。梱包材に書かれているのはポーポキです)。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!